

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## &lt;施工の前に&gt;

**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分 16 (C種) 以上で施工してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。熱による部材の変形・劣化のおそれがありますので、給油機、暖房機など、排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## &lt;基礎工事について&gt;

**注意**

- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進したり、溜まった水が凍結して柱が破裂するなど強度低下につながるおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めないでください。
- 基礎寸法は製品ごとに決められていますが、地盤が軟弱な現場ではコンクリートの打設量を十分配慮してください。

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。付着した場合は速やかに拭取ってください。


## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

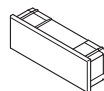
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## ■梱包明細表

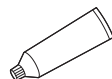
### 【1】柱

名 称	略 図	員 数
柱		1

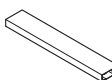

### 【3】キャップ

名 称	略 図	員 数
角面材用キャップ		2

### 【4】キャップ接着剤

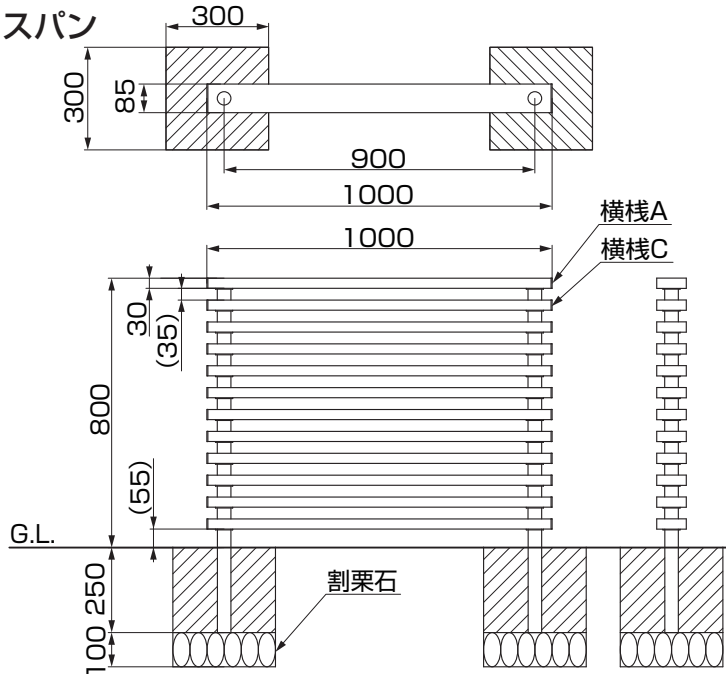
名 称	略 図	員 数
キャップ接着剤		1

### 【2】横棧 (30×85)

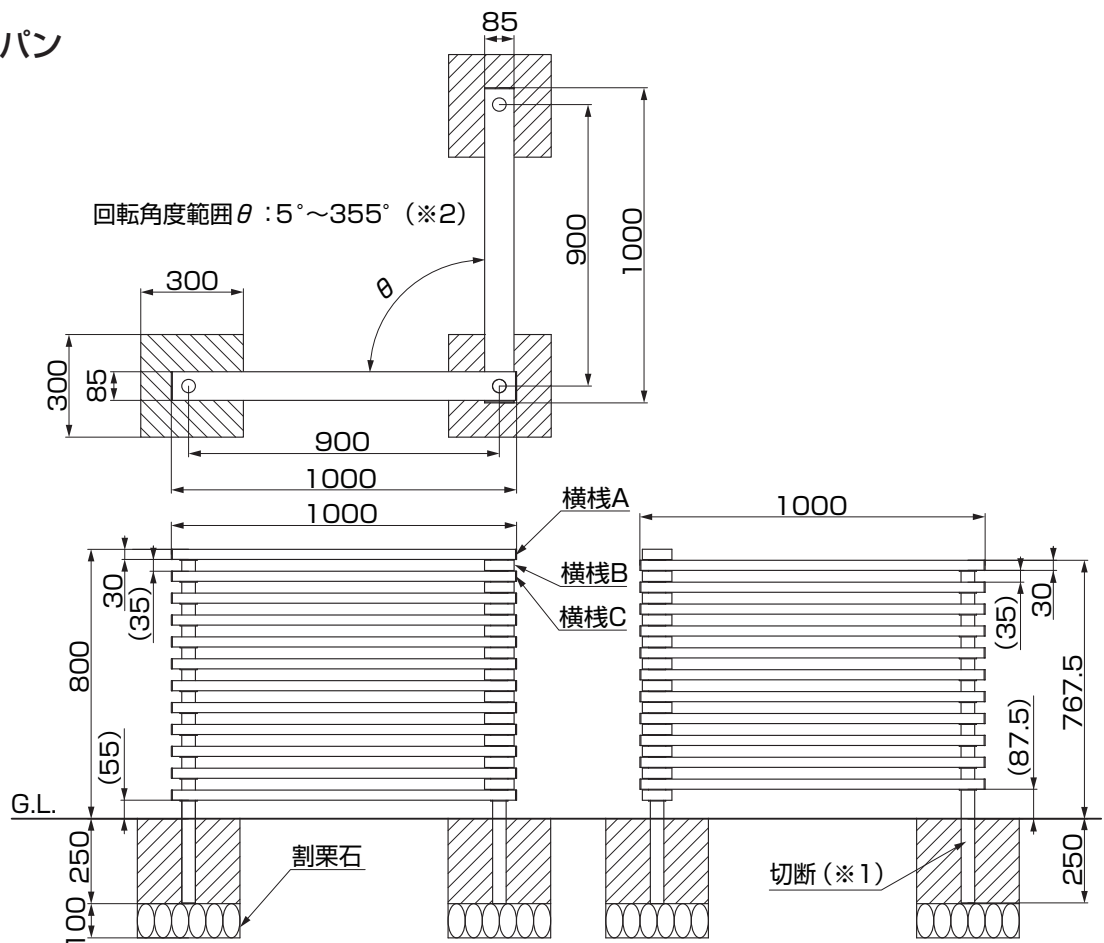
名 称	略 図	員 数		
		横A	横B	横C
横棧A		1	—	—
横棧B		—	1	—
横棧C		—	—	1
【2-1】φ4×16 ナベドリルネジ		2	2	2
取付説明書〈C414〉	—	1	—	—

# 1. 基本寸法と基礎寸法 ※図中の ( ) は任意の寸法です。

1-1 1スパン



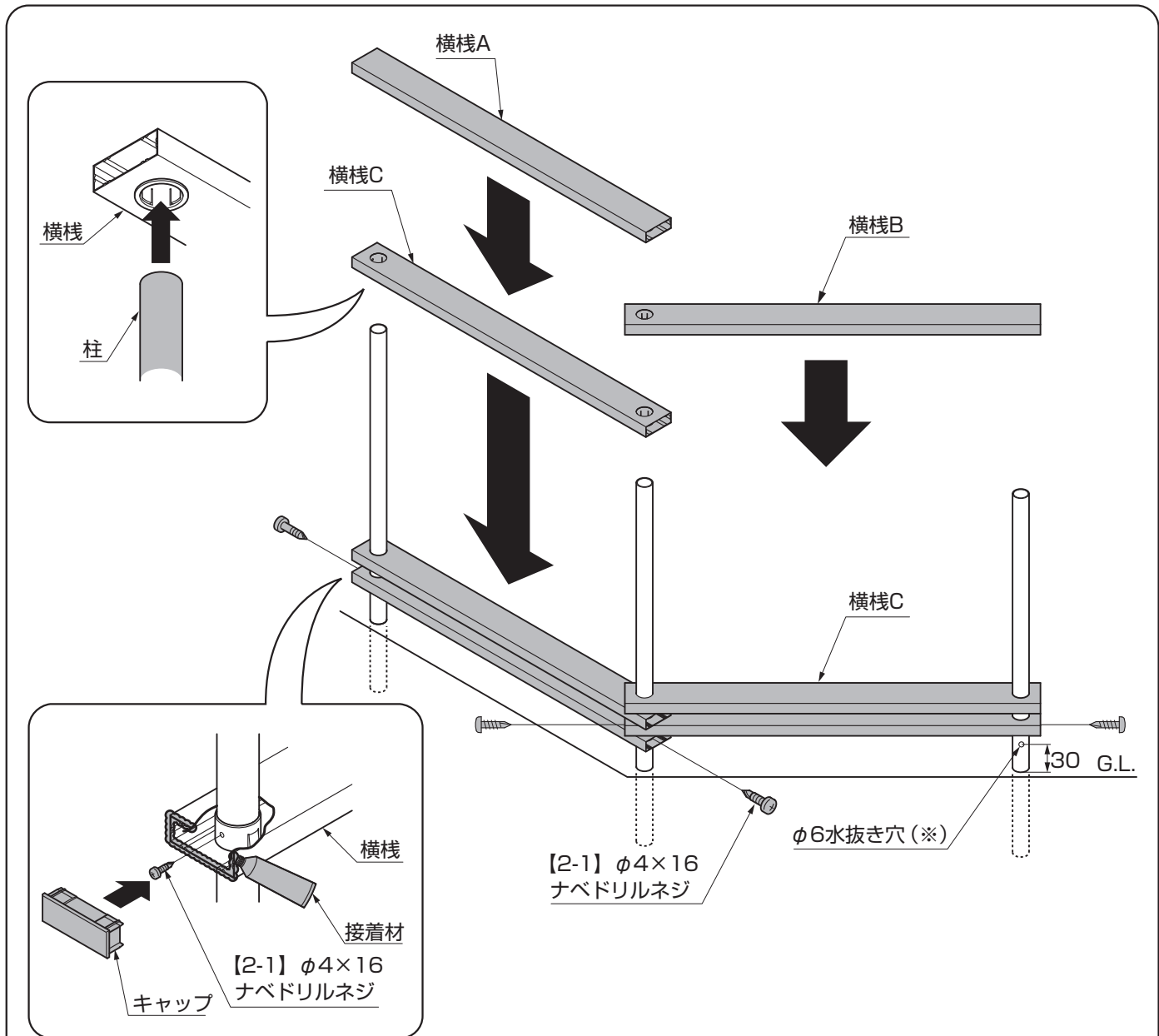
1-2 2スパン



**ポイント**

- 図は2スパン目を90°で施工した場合を示します。
- 2スパン目からは柱を切断して埋込み深さを調整してください。(\*1)
- 3スパン目からも同様に連結し、角度を変えて施工することができます。(\*2)

## 2. 本体の取付け



### ポイント

- 建て込みは組立てた後に行なってください。柱に横棧を挿し込むことができなくなるおそれがあります。
- 横棧Aまたは横棧Bは柱上端の小口を隠すため、最上段に必ず取付けてください。  
また、取付けの際はぐらつきの無いように奥までしっかり挿し込んでから取付けてください。
- 接着材の塗布量の目安はキャップ1個につきおよそ5gです。
- 接着剤がはみ出した場合は乾く前にきれいな布などで拭き取ってください。

- ①横棧Cに柱を挿し込んで【2-1】で取付けてください。
- ②横棧Aまたは横棧Bを柱に挿し込んで【2-1】で取付けてください。
- ③横棧の端部にキャップ接着剤を塗布して、キャップを取付けてください。
- ④建て込みを行ない、全ての柱にφ6の水抜き穴加工してください。(※)

取説コード

**C414**

JZZ622093C  
201102A\_1039  
201607D\_1048